



「今、できること」

丘友会会長 西川憲行



昨年は近年の中でも特に時代が目まぐるしく変化した年だと思えます。3月11日起こった東日本大震災を初め、三重県内でも台風による災害が発生し、日本の安

「亀山高校の今、そしてこれから」

校長 福永和伸



「私が亀山に居た頃はねえー」

丘友会の方々とお話を交わすと、しばしばその方の高校時代の思い出話に花が咲くことがあります。こうしたお話は歴代の亀山高校の先生方や生徒たちが紡ぎ上げてきた物語の断片とも言えるのですが、面白いのは、話される方の世代によって、「当時の亀山高校の様子」がずいぶん異なるということです。それは、とりもなおさず、長きにわたる本校の歴史が紆余曲折に富んだものであったことを意味しています。聞く側の私の胸にもある種の感慨をかき立ててくれます。そして、その営みの中で得られてきた様々な知恵と工夫が今に受け継がれ、本校教育の「不滅の光」となって息づいているのこそを深く実感されてくれるのです。

女 高 校 会
鹿 山 高 校 会
鈴 亀 同

山本市町1丁目10-1
TEL 0595-83-4560
FAX 0595-83-4567

となっていたのが、震災を機に見直され、人と人との強い絆を求めた時代へと変化しているのです。我々、丘友会の会員も今の日本が大きな転換期を迎えたと感じているでしょう。

今現在、丘友会は継続的な事業や市町等と連携した事業などもなく、ただ単に亀山市で唯一の公立高校の同窓会としてその伝統と存在を認められている過ぎないと感じます。多くの会員がいて、多種多様な人材が存在する丘友会をもっと有効に活用することを考えています。

また、キャリア教育(社会的・職業の自立に必要な能力を育む教育)に力を入れるとともに、少人数学級を導入し、一人ひとりを大切にしたい結果、進学教育を進めてきた結果、進学・就職とも年々その実績を伸ばしてきています。平成22年度には文部科学省から「キャリア教育優良学校」として県内で唯一表彰を受けたところです。

充実した学校生活を背景にして、部活動も活性化しており、部、陸上部などが東海大会以上に駒を進めています。

着実な前進を続ける一方で、今後に向けた課題もあります。特別な支援を要する生徒が増えつつあることに対し、支援体制を整えていかなければなりません。生徒が全体的にひ弱になってきているのではという声もあっています。学校は、これから激動の時代を生きていくための

力、壁を乗り越えざるを得ない状況に育んでいくかが問われています。私たちは今後も、亀山高校に集う生徒のために、一層の熱意を持って取り組んでいく覚悟です。

用することが今後の街の発展につながる、会員の役にも立てると思えます。現在、創立89年。2022年度には記念すべき100周年を迎えます。

また、残念なことではあります。定例制は2013年度末をもって閉課程となり、その記憶が残りなくなりました。丘友会として、記念誌の発行と卒業生への呼びかけによるイベントの開催などができないかと模索しています。会員皆様のご意見やご協力をお願いいたします。

一人一人の経験と工夫を活用できるような組織として、また、情報の集約と発信を行うことで、卒業生の絆を太くできればと考えています。

その為には多くの会員と一緒になって地域について話し、新しい時代に合わせそれぞれの亀山の町や亀山高校を考え、今後の丘友会の活動のあり方を再考していきたいと考えています。

微力ではありますが、丘友会の発展のため、会員相互の絆を強くしていくために努力してまいりますので、皆様のご協力とご理解をお願いいたします。

最後に、学校だけでは対応できない教育課題が増える中学校・家庭・地域が一体となった「県民総参加の教育」の必要性が高まっています。生徒の「輝く未来づくり」という共通の願いに向かつて、学校・家庭・地域が、批判しあうのではなく、補いあい、高めあえる関係であるべきだと思います。丘友会の皆様におかれましては、街で本校の生徒を見かけられた際には、そこであいさつや身だしなみについて、遠慮なく教えてください。

今後とも、本校教育の充実にご力をお貸しいただきますようお願い申し上げます。

お願ひ申し上げます。

「懐かしの同窓会」

昭和44年卒業 竹尾 泰

去る4月16日、四日市市都ホテルにて昭和44年卒業普通科同窓会が開催され出席しました。当日は恩師の小坂綱子先生、西田芳文先生、横直先生にも出席いただき、懐かしひと時を過ごさせていただきました。

私にとっては、退任退職37年間の教員生活を定年退職した直後の旧友との再会であり、特別に若き日への郷愁にかられたのであります。入学式の後、上級生による楽しい校歌練習をさせられたこと、体育祭や文化祭そして南九州への修学旅行の思い出など、42年前の若き時代のことを思い出しながら語り合いました。そう言えば、男子生徒は全員が坊主頭でした。

現在亀山高校は、普通科、システムメディア科、総合生活科を設置する総合制高校として発

展し、地域に根ざした高校として親しまれています。先日、懐かしの亀山高校に訪問させていただきました。私たちが学んだ校舎は、南側に位置する新館のみが残っているだけで、あとは全て建て替えられています。しかし、母校として我が家にも似た落ち着いた雰囲気を感じたのでした。そして廊下で出会った生徒から「こんにちは」とさわやかな挨拶をいただきました。なごやかな挨拶をいただきましたのであります。

42年前と変わらなくなったものの、亀山高校の不滅の光は、変わることなくさわやかに引き継がれているのを感じたのであります。改めて母校亀山高校の発展のため日夜努力させていただきます。

最後にひとりの亀山ファンとして、亀山高校と丘友会のみならず、その発展と会員の皆様方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

思っております。

「ありがとう亀山高校」

平成11年卒業 山田拓朗

私が今、亀山市で強く生きて行ける源は亀山高校での3年間にある。亀山高校に入学した動機はただ自宅が近いからという安易なものでした。そんな動機で入学したので、入学当初は特にやういした事もなく、やりがいも見いだせずにいました。そんな中で、何かクラブ活動ぐらいはしようと思いつき、いろいろなか

らに走り回っていた姿を見てくれたらいいなという思いが、10数年経った今でも親友であります。クラブ活動で身に着けた精神力のおかげで、どんな辛いことがあっても常に笑顔で高校生活を送れたので、今は辛かった事も含めて全てがとてつもない思い出です。だから、陸上競技としては万年予選落ちでも、亀山高校の生活としては優勝したと思っております。

思っております。

総会のお知らせ

第54回(平成24年度)丘友会総会を次のように開催いたします。お申し込みは、必ずしも必要ありませんので、ご承諾下さい。

- 一、日時 平成24年5月13日(日) 午前10時～役員会 午前10時30分～総会
- 一、場所 亀山高等学校大会議室
- 一、議題
 1. 平成23年度経過報告
 2. 平成24年度事業計画に因する件
 3. その他

手配りや準備のお知らせ

日時 平成24年7月26日(木) 8時30分スタート

- ◆コース 鈴鹿カントリークラブ
- ◆会費 6,000円
- ◆賞品 パーティー、賞品、チャリティー賞
- ◆申し込み締め切り 7月13日(金)
- ◆申し込み 堀田建設(株) 柳瀬 滋宛
- TEL 0595-1821331
- FAX 0595-1821331

主催 亀山高校クラブ活動後援会



2010年3月卒業生進路状況

☆進学・就職の分類

Table with 7 columns: 普通科, システムメディア科, 総合生活科, 全体, 男, 女, 合計. Rows include 4-year university, short-term university, vocational school, etc.

☆就職者職業別分類

Table with 7 columns: 普通科, システムメディア科, 総合生活科, 全体, 男, 女, 合計. Rows include specialized technical, clerical, sales, etc.

2011年3月卒業生進路状況

☆進学・就職の分類

Table with 7 columns: 普通科, システムメディア科, 総合生活科, 全体, 男, 女, 合計. Rows include 4-year university, short-term university, vocational school, etc.

☆就職者職業別分類

Table with 7 columns: 普通科, システムメディア科, 総合生活科, 全体, 男, 女, 合計. Rows include specialized technical, clerical, sales, etc.

全国出場—感謝—

中島 佑斗

高校時代3年間続けたウエイトリフティングで高校3年生の夏イベントハイに出場しました。初めの全国舞台は思ったよりも緊張するものでした。しかし、それ以上に大舞台に立つ喜びのほうが大きかったのを覚えています。試合当日は緊張で平常心を保つことが出来た。今までの以上の競技をしたという一心で努力してきたことすべてを最大限に発揮した。

れ、約半年以上、満足のいく練習ができていない状態が続いてきた。それだけに大きな絶望と不安に包まれ、折れそうなようになっていました。しかし、そのような僕に、親身になり時には厳しく指導してくれた顧問の先生、常に支えてくれた部員の仲間、友達、優しく励ましてくれた先生方のおかげで、諦めずこのインターハイの切符を手に入ることができたと思います。ウエイトリフティングという競技を通じて、技術・体力はもちろんですが、大きな精神力を養うことができたと思います。また、自



夢へのステップ

平成22年3月普通科卒業

川戸 湧也

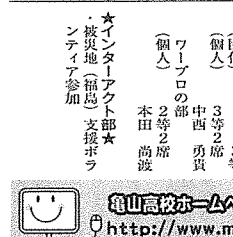
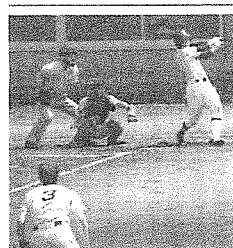
私は現在、茨城県にある筑波大学の体育専門学科に通っています。さて、私の高校生活を振り返ってみると、私を現在の環境に導いてくれた2つの事柄がありました。まず一つ目は部活として3年間取り組んできた柔道です。私は高校3年生の頃より父が主宰している道場で柔道を始め、今年で12年目になりました。高校の柔道部では試合での勝敗に一喜一憂しましたが、3年間を通して、①一所懸命に物事に取り組むことの重要性。②継続する。と言う事の難しさを学ぶ事が出来ました。これは現在でも私の胸に深く刻まれています。そして二つ目は高校生活の集大成として挑んだ大学受験です。筑波大学は国立大学なので入学するためには1月に行われるセンター

試験を突破しなければなりません。しかしそれまで部活に取組んできた私は、テスト前だけ勉強する。生徒で、進路模試の結果は常に散々なものでした。しかし筑波大学を受験すると決意してから学校で夜遅くまで補習を受け、7か月続けました。夏の勉強合宿では17時間×3日間勉強をしました。この結果、私が志望していた大学に入学する事が出来ました。しかしこれは私だけの力で成し遂げたものではありません。毎日の補習にはいつも先生がいた下さり、丁寧に教えていただきました。また切磋琢磨、競い合える友達と

部活動の記録

◆平成22年度部活動記録

- ☆女子バレーボール部... ☆女子バスケットボール部... ☆女子ソフトテニス部... ☆男子バレーボール部... ☆男子バスケットボール部... ☆男子ソフトテニス部... ☆女子ソフトテニス部... ☆男子ソフトテニス部... ☆女子バドミントン部... ☆男子バドミントン部... ☆女子ソフトボール部... ☆男子ソフトボール部... ☆女子ソフトテニス部... ☆男子ソフトテニス部... ☆女子バレーボール部... ☆男子バレーボール部... ☆女子バスケットボール部... ☆男子バスケットボール部... ☆女子ソフトテニス部... ☆男子ソフトテニス部... ☆女子バドミントン部... ☆男子バドミントン部... ☆女子ソフトボール部... ☆男子ソフトボール部...



- ☆女子バレーボール部... ☆女子バスケットボール部... ☆女子ソフトテニス部... ☆男子バレーボール部... ☆男子バスケットボール部... ☆男子ソフトテニス部... ☆女子ソフトテニス部... ☆男子ソフトテニス部... ☆女子バドミントン部... ☆男子バドミントン部... ☆女子ソフトボール部... ☆男子ソフトボール部... ☆女子ソフトテニス部... ☆男子ソフトテニス部... ☆女子バレーボール部... ☆男子バレーボール部... ☆女子バスケットボール部... ☆男子バスケットボール部... ☆女子ソフトテニス部... ☆男子ソフトテニス部... ☆女子バドミントン部... ☆男子バドミントン部... ☆女子ソフトボール部... ☆男子ソフトボール部...

